

アラガン・ジャパン

「乳がんと乳房再建に関する意識調査」

<調査概要>

期間:2014年5月16日~5月21日

対象:全国の20代から60代までの一般男女1,000人、および身近に乳がん患者さんがいる男女300人(都道府県の人口比率に合わせて設計し、調査サンプルは性別年齢ごとに均等割付)

方法:インターネット調査

図1: 乳房再建に対し、約6~7割の男女が賛成—男性はより賛成する傾向に

Q もしあなた(女性の場合)またはあなたの配偶者やパートナー、ご家族(男性の場合)が、乳がんと診断され乳房を切除することになったら、乳房再建を希望または賛成しますか。

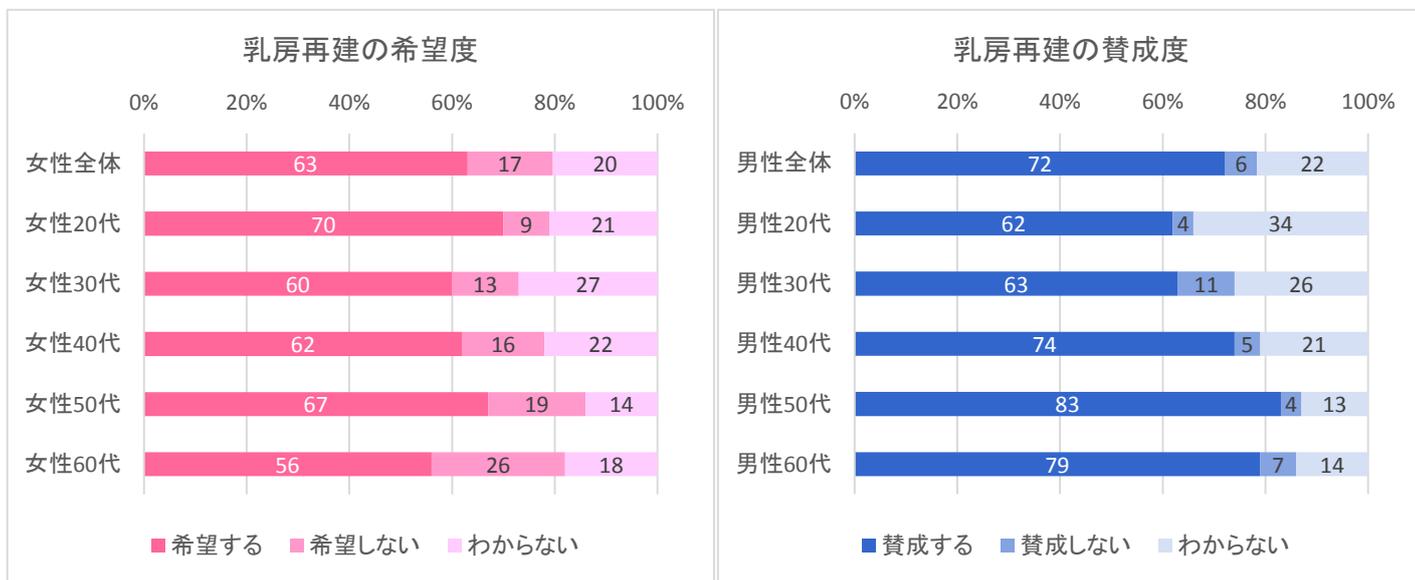
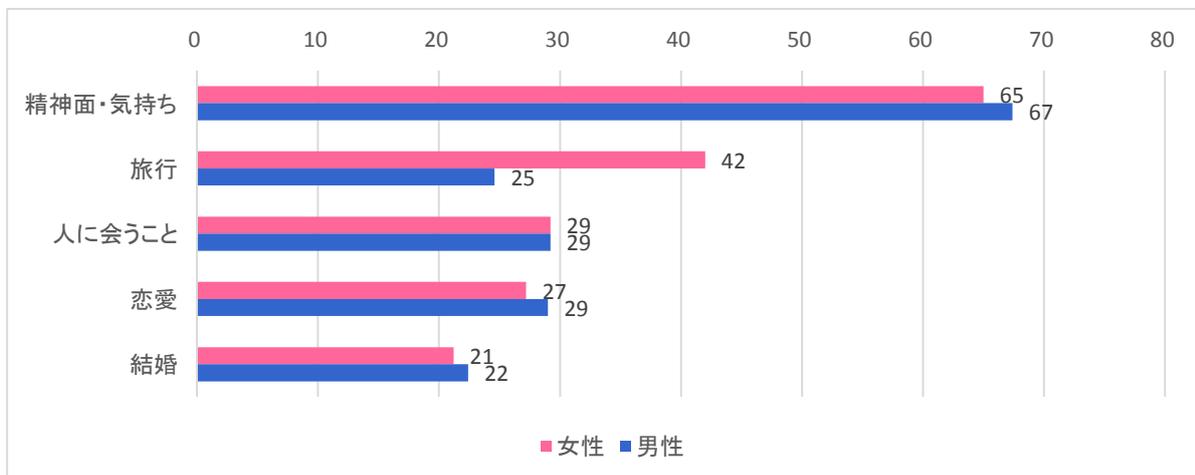


図2: 乳房再建をしないことによる生活へのマイナスの影響は、「精神面・気持ち」

Q 乳房を摘出後、乳房再建をせずにそのままの状態です生活するとしたら、どのようなことで不便に感じるとお考えですか。(複数回答)

単位: %



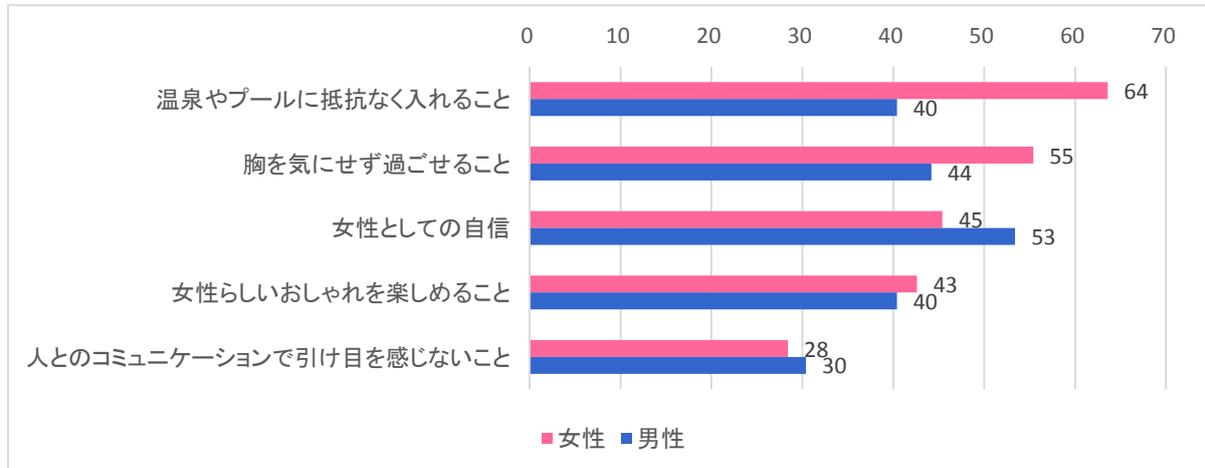
※回答数の多かった上位5つを抜粋

上記以外の選択肢: 「日常生活」「運動・スポーツ」「普段の外出」「趣味・娯楽」「家事」「仕事」

図 3: 乳房再建することで、生き生きとした日常生活を送る「自信」を回復

Q もし乳房再建をするとしたら、どのようなことを得られると思いますか。(複数回答)

単位: %



※回答数の多かった上位 5 つを抜粋

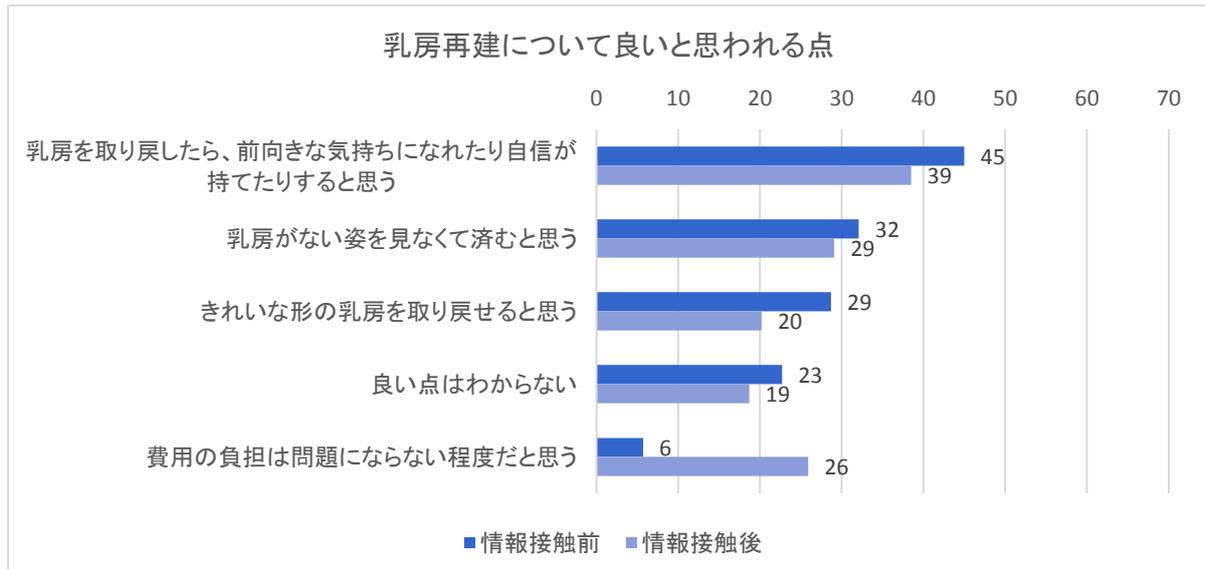
上記以外の選択肢: 「乳房摘出前と同じような積極性、前向きな気持ち」「家族と一緒に風呂に入れること」「乳がんにかかる前と同じ生活」「乳がんの存在を忘れられること」「体を動かすことに抵抗がなくなること」「日常生活や活動に制限を感じないこと」

図 4: 乳房再建についての良い点は「前向きな気持ちになる」、懸念点は「費用」

Q 乳房再建について良いと思われる点(当てはまるもの)をお聞かせ下さい。(複数回答)

(設問の途中で乳房再建に関する資料を提示しました。情報に接触する前後で同じ質問を 2 回聞き、回答を比較しました)

単位: %



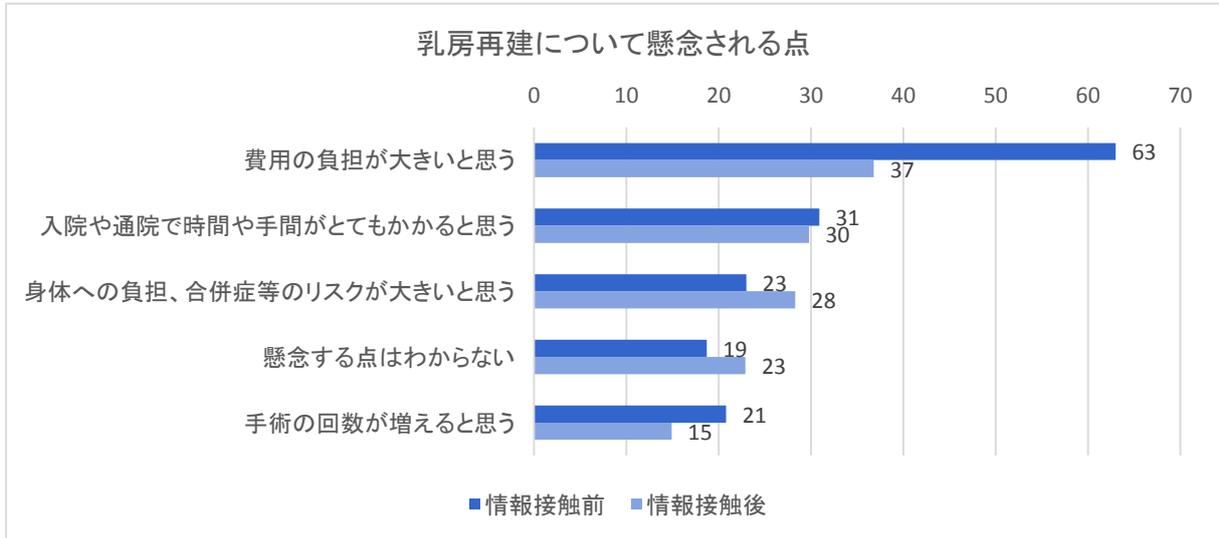
※回答数の多かった上位 5 つを抜粋

上記以外の選択肢: 「希望する時期・タイミングで手術を受けられると思う」「民間の医療保険や生命保険が使えると思う」「乳がんの治療の妨げにならないと思う」「身体への負担、合併症等のリスクは小さいと思う」「入院や通院で時間や手間があまりかからないと思う」「希望する年齢で手術を受けられると思う」「乳房を失ったら乳房再建するのは当たり前だと思う」「手術の回数が増えても問題ではないと思う」

Q 乳房再建について懸念される点(当てはまるもの)をお聞かせ下さい。(複数回答)

(設問の途中で乳房再建に関する資料を提示しました。情報に接触する前後で同じ質問を2回聞き、回答を比較しました)

単位: %



※回答数の多かった上位5つを抜粋

上記以外の選択肢: 「民間の医療保険や生命保険が使えないと思う」「きれいな形の乳房を取り戻せないと思う」「希望する時期・タイミングで手術を受けられないと思う」「乳房を失っても乳房再建するのは当たり前だと思わない」「希望する年齢で手術を受けられないと思う」「乳がんの治療の妨げになると思う」「乳房の有無は重要ではないと思う」「乳房があってもなくても、気持ちの変化は特にないと思う」

図5: 乳房再建の保険適用への認知は極めて低い

Q 乳房再建に健康保険が適用されることを知っていますか。(単一回答)

単位: %

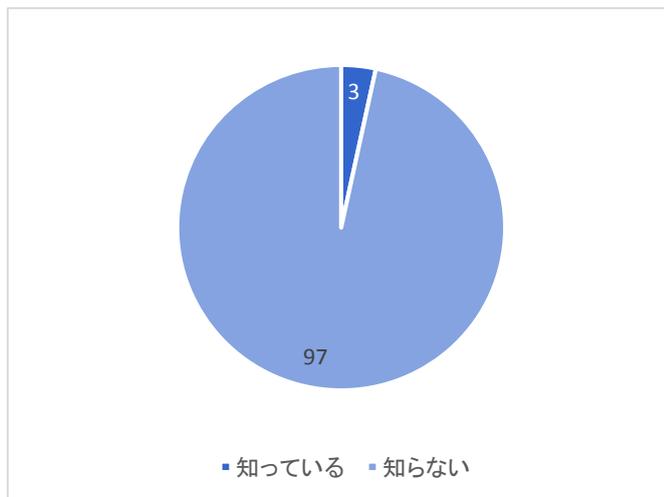


図 6: 乳房再建に関する認知は 2 割程度

Q あなたは乳房再建についてどの程度知っていましたか。(単一回答)

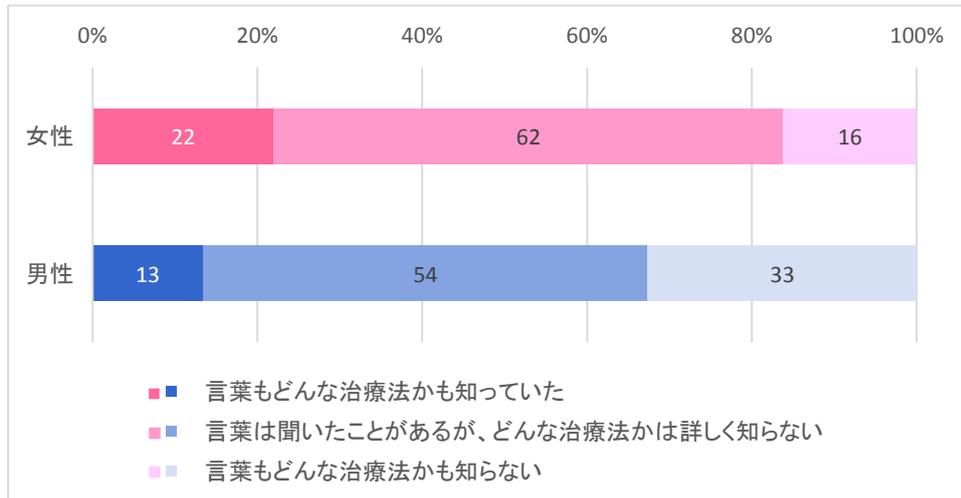


図 7: 女性の乳がんについての知識で最も高いのは「自己検診(セルフチェック)」

Q 乳がんについて以下の中で知っていることを教えてください。(複数回答)【女性のみ】

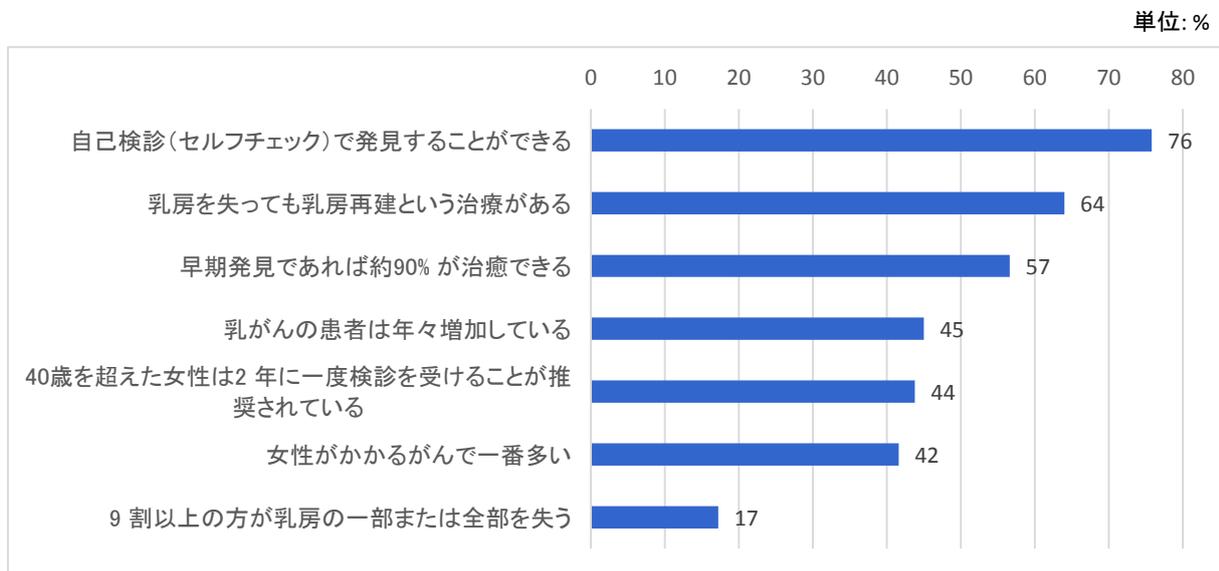
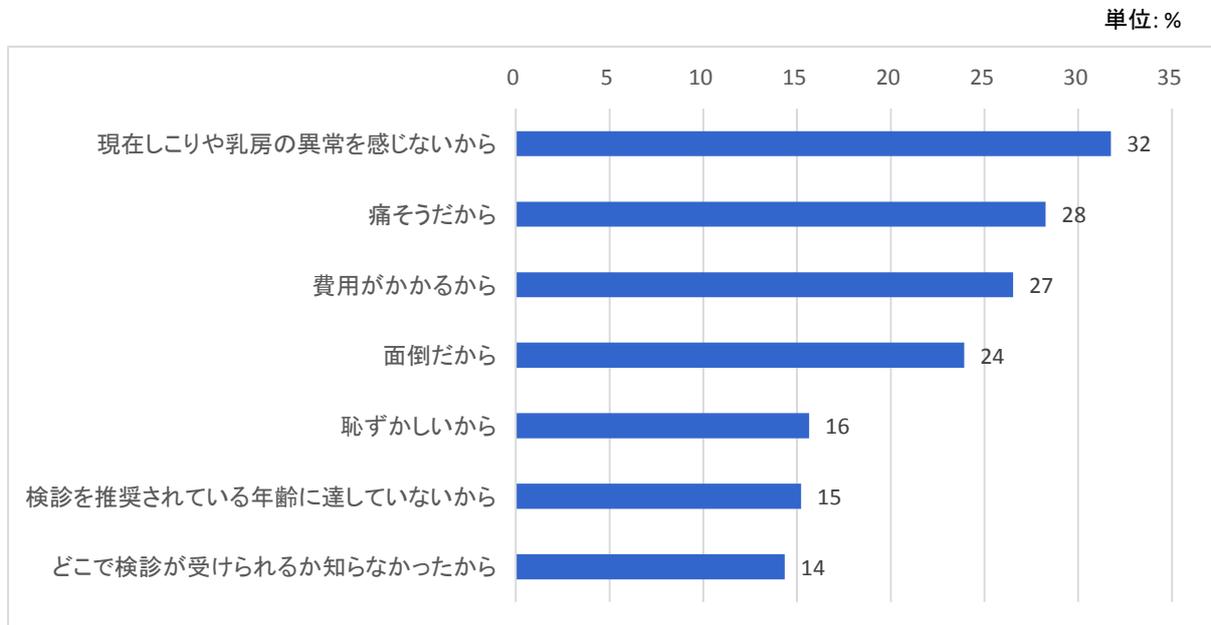


図 8: 乳がん検診を受けない理由として最も多いのは、「自覚症状がない」から

Q 乳がん検診を一度も受けたことがないと答えた方にお聞きします。検診を受けていない理由は何ですか。(複数回答)【女性のみ】



※回答数の多かった上位 5 つを抜粋

上記以外の選択肢: 「特に理由はない」「忙しく時間がないから」「乳がんと診断されるのが怖いから」「検診が受けられることを知らなかったから」「検査で放射線を浴びたくないから」「乳がんと診断されて乳房を失う可能性があるから」「早期発見にあまり意味がないと思うから」